ノート

キセノンランプを用いた溶液系における ジェン系ポリマーの光分解に及ぼす増感剤の影響

山本圭亮*,山中啓輝**,「香西博明**

Effects of Sensitizer on the Photodegradation of Diene Polymer in Solution System Using a Xenon Lamp

by

Keisuke YAMAMOTO*, Hiroki YAMANAKA**, †Hiroaki KOUZAI** (Received Dec. 22, 2017; Accepted Jan. 31, 2018)

Abstract

We confirmed the photodegradation of diene polymer in solution by a sensitizer. Our results show that the molecular weights of the polymer were markedly lowered by the degradation by a xenon lamp when a sensitizer was added. Especially, strong effects on the degradation of diene polymer was observed by the addition of carbazole as a sensitizer. In addition, the degradation products exhibited increased solubility, and was dissolved in various organic solvents. FT-IR and ¹H NMR spectra of the irradiated polymer indicated that the –OH and –C=O groups were generated, while olefinic groups decreased in number. This result indicates that the degradation of polymers proceeds by an auto-oxidation mechanism.

Keywords: Diene polymer, Photodegradation, Sensitizer, Auto-oxidation reaction, Xenon lamp

1. 緒言

エラストマー材料 1)の一種であるゴムは,タイヤ,ホー ス、パッキンなど我々の生活になくてはならないポリマー 材料の一つになっている2).しかし、原料のゴム状態では 構造単位中に不飽和結合を持つために反応性に富み, 容易 に劣化するという欠点がある. そこで、ジエン系ポリマー に加硫や添加剤といった配合剤や加工方法の検討が行われ,

平成 29 年 12 月 22 日受付

関東学院大学大学院工学研究科物質生命科学専攻:神奈川 県横浜市金沢区六浦東 1-50-1

TEL 045-786-7155 FAX 045-786-7098

Department of Material life and Science, Graduate School of Industrial Chemistry Kanto Gakuin University: 1-50-1, Mutsuura-higashi, Kanazawa-ku, Yokohama-shi, Kanagawa 236-8501, Japan

関東学院大学理工学部理工学科:神奈川県横浜市金沢区六 浦東 1-50-1

TEL 045-786-7155 FAX 045-786-7098

kouzai@kanto-gakuin.ac.jp

College of Science and Engineering, Kanto Gakuin University: 1-50-1, Mutsuura-higashi, Kanazawa-ku, Yokohama-shi, Kanagawa 236-8501, Japan

†:連絡先/kouzai@kanto-gakuin.ac.jp

ゴムは弾性体としての用途が飛躍的に拡大した 3). 現在で も加工技術の発展とともに, 高弾性で, 耐熱性, 耐候性, 耐薬品性などに優れたエラストマー材料が多く開発されて いる 4),5). しかし、その優れた耐久性のため、廃タイヤに代 表されるゴム廃棄物の処理の問題が近年大きく取り上げら れている ⁶. 現在, ゴム製品の一部はリサイクルによって 処理されているが、処理量が廃棄量に追いついていないの が現状である. また, ゴム製品の大部分が代替燃料として 利用されているが、ゴム製品を焼却することで、CO2やNOx、 SO_x の発生による大気汚染の問題があり、埋め立てにおい ても, エラストマー材料は土壌で腐敗, 風化しないため深 刻な環境問題となっている 7. このような観点から筆者ら は、これまでに、ジエン系ポリマーの簡便な処理方法とし て、紫外線照射による光分解の検討を行なっている 8). ジ エン系ポリマーは, 劣化反応の際, ラジカル連鎖付加反応 による架橋反応が優先してしまい, 光分解が困難な材料と されているが⁹⁾, 増感剤を添加することで自動酸化反応に よる光分解が進行することを明らかにした10).しかし、紫